特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人

REC'D	1	9	JAN	2006
WIPO				PCT

電話番号 03-3581-1101 内線 3451

今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。

の書類記号 PCT-A0436-00		の子板さについては、保スドし1/1ドロA/410を参照すること。					
国際出願番号 PCT/JP2004/013982	国際出願日 (日. 月. 年) 16. 09. 2004	優先日 (日.月.年) 19.09.2003					
国際特許分類(IPC)Int.Cl. 補充欄を参照。							
出願人(氏名又は名称) キッセイ薬品工業株式会社							
この報告替は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。 この国際予備審査報告は、この衰紙を含めて全部で 5 ページからなる。 この報告には次の附属物件も添付されている。							
(実施細則第 802 号参照)							
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。 ② 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎 □ 第 I 欄 優先権 □ 第 II 欄 競技性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 □ 第 IV 欄 発明の単一性の欠如 ② 第 V 欄 P C T 35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 □ 第 VI欄 ある種の引用文献 □ 第 VI欄 国際出願の不備 □ 第 VI欄 国際出願に対する意見							
第IIM 新規性、進歩性 第IV棚 発明の単一性の 第V棚 PCT35条(2)で けるための文献 第VI棚 ある種の引用文 第VI棚 国際出願の不備	○欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業上 战及び説明 〔献 前						
第IIM 新規性、進歩性 第IV棚 発明の単一性の 第V棚 PCT35条(2)で けるための文献 第VI棚 ある種の引用文 第VI棚 国際出願の不備	O欠如 に規定する新規性、進歩性又は産業上 及び説明 C献 計 一る意見 国際予備審査報						

東京都千代田区設が関三丁目4番3号

第I概	報告の基礎							
	新に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。							
	出願時の言語による国際出願 出願時の言語から次の目的のための言語である 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文							
I.								
	□ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b)) □ 国際公開 (PCT規則12.4(a))							
	□ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))							
	>却たはてわる山原寺塔と甘珠ししも、(24年6名(DOTM名)の坦宁に甘べく今今に古安ナスをおに垣山され							
2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)								
K	出願時の国際出願移類							
Γ	明細醬							
	第 ページ、出願時に提出されたもの							
	No							
	第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの							
	請求の範囲							
-	第 項、出願時に提出されたもの							
	第							
	第							
	男 ヘーン/ 凶 、							
	第 ページ/図、出願時に提出されたもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの							
Г								
L	配列表に関する補充欄を参照すること。							
з. [補正により、下記の番類が削除された。							
	『 明細書 第 ページ							
	「」図面 第 ページ/図							
	□ 配列表(具体的に記載すること) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □							
	□ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)							
4.	この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超							
	えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))							
	□ 明細書 第 ページ							
	「							
	配列表 (具体的に記載すること)							
The state of the s								
* 4.	に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。							

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/013982

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明					
1. 見解					
新規性(N)	簡求の範囲	1 — 9	有		
	請求の範囲		無		
進歩性(IS)	請求の範囲		有		
	請求の範囲	1-9	無		
産業上の利用可能性 (I A)	請求の範囲	1-9	有		
	請求の範囲				

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

国際調査報告に提示された以下の文献1~7に基づいて見解を示す。

文献 1 / WO 2002/028827 A1

文献 2/JP 2003-104957 A

文献 3 / WO 2003/000256 A1

文献 4 / JP 2002-504110 A

文献 5 /JP 8-217692 A

文献 6 / JP 9-20681 A

文献 7/JP 7-258103 A

(1)請求の範囲1~9の進歩性に関して/文献1~7

また、文献3、4に記載のように、動脈性または静脈性の血栓塞栓症の治療に、Xa因子阻害剤と血小板凝集阻害剤を併用すると、血栓重量の減少などの抗血栓塞栓効果が増強することは当業者には自明の事項である(文献3の第1頁第9行~第25行、第32頁第1行~第18行、第40頁第11行~最終行、文献4の特許請求の範囲、第7頁第2行~第6行、第77頁第21行~第79頁第1行、第84頁の図1)。

したがって、上記文献3、4の記載を考慮して、血栓重量の減少などの抗血栓塞栓効果に優れた医薬を得るために、文献1、2に記載されたXa因子阻害剤と血小板凝集阻害剤を併用してみることは当業者には自明である。

(続き有り)

補充概

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

本願発明の有する凝固亢進状態の改善効果について検討する。文献 5、6に記載のように、血小板は血液凝固を促進することから、血小板凝集阻害剤は凝固亢進状態の改善作用を有するものと認められるし、文献 7 には、アスピリンが凝固亢進状態の改善効果を示すことが示されている(文献 5 の[0005]、文献 6 の[0003]-[0004]、文献 7 の[0049]、[0064]、第12頁の図 7)。よって、本願発明の効果は、単に凝固亢進状態の改善効果を有する成分の配合量が増えたことによるものであり、格別のものではない。

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/013982

補充楓

いずれかの梱の大きさが足りない場合

第 表紙 欄の続き

A61K31/216(2006.01), A61K31/4365(2006.01), A61K31/4709(2006.01), A61K31/519(2006.01), A61K31/616(2006.01), A61K45/00(2006.01), A61P7/02(2006.01), A61P9/04(2006.01), A61P9/10(2006.01), A61P43/00(2006.01)